

配信資料に関する技術情報(気象編) 第203号

－10分毎の地域気象観測報を配信する観測所の追加－
(配信資料に関する技術情報(気象編)第121号、第157号、第169号及び第181号関連)

気象庁では、平成15年3月から地域気象観測(アメダス)の10分値の配信を開始しています(配信ヘッダー等は表2参照)が、一部の観測所では悪天時にのみ10分値を配信しています。

表1に示す4ヶ所の観測所においては、従来、悪天候時にのみ10分値の配信を行っていたところですが、これらの観測所についても平成17年9月から順次、10分値の常時配信を開始します。これにより、悪天時にのみ10分値を配信する観測所は、表3のとおりとなります。

1 配信開始日

表1. アメダス10分値の常時配信を開始する観測所と配信開始予定日時

観測所番号	観測所名	配信開始予定日時
45371	勝浦	平成17年11月中
48331	軽井沢	平成17年11月中
84519	雲仙岳	平成17年9月30日(金)17時(JST)頃
86156	阿蘇山	平成17年11月中

注) 1. 当日の作業の進捗状況により、配信開始時刻が前後する場合があります。
2. 勝浦、軽井沢、阿蘇山については、日時が決まり次第改めてお知らせします。

2 配信回線：全国版電文形式データ回線

3 配信しているデータの内容等

表2. 全国版気象データ回線から配信しているアメダスデータ(10分毎の値)

	配信ヘッダー	観測時刻等	観測要素					通報式等
			雨	風	気温	日照時間	積雪深	
BUFR形式	ISYRii ^{注)}	正時以外の毎10分値	○	○	○	○		FM94

注) 配信ヘッダー中のiiは、電文(地方単位の編集報)に含まれる観測所データの対象領域を示す番号で、10は北海道、15は東北、20は関東甲信、25は東海、30は北陸、35は近畿、40は中国、45は四国、50は九州北部、55は九州南部、60は沖縄。

4 利用上の注意事項

(1) 通信回線の障害、観測装置の点検作業等により観測時刻より9分以内に集信されなかったアメダス10分値は配信しません(正時値の配信率は99.9%、10分値の配信率は99.6%)。

なお、軽微な点検作業等についての事前連絡は行いません。

- (2) C-ADESS障害時には、10分値は配信しません（正時値については従来通り配信を確保します）。
- (3) 10分値に対する修正報はありません。
- (4) 積雪深データは、10分値の配信を行いません。また、気象官署（特別地域気象観測所を含む）の日照時間データは、10分値の配信を行いません。
- (5) 表3に示す観測所では、悪天時（雨量もしくは風速がある一定の基準値に達した場合）のみ、10分値を配信します。配信する基準は、雨量は観測所が所在する予報区の大雨注意報基準雨量の1/6、風は同予報区の強風注意報基準風速の8割を観測した場合です。
- (6) 降水量、日照時間は前正時からの積算値を配信します。

表3. アメダス10分値を悪天時にのみ配信する観測所（平成17年11月以降）（観測所番号：観測所名）

72111：多度津、74447：宿毛、81071：萩、82136：飯塚、83137：日田、84171：平戸、 84266：佐世保、86467：人吉、86491：牛深、87141：延岡、87426：都城、88061：阿久根
